

みやぎ水再生センターの名前の由来

平成16年4月にみやぎ水再生センターは小台処理場から名称を変更しました。

地域の方々との話し合いのなかで、足立区宮城にあることと、親しみやすいイメージが出るようにということから、「みやぎ」という名称になったのです。

宮城ファミリー公園

東側の水処理施設の上部空間には、足立区の宮城ファミリー公園があります。グランドゴルフ、ゲートボールなどができる多目的広場、バスケットなどが楽しめるアクティブスポーツ広場があります。



▲地域の皆さまの憩いの場になっています。



▲みやぎ水再生センターの水処理施設

案内図

●所在地 〒120-0047 東京都足立区宮城2-1-14
☎03-3919-7001

●交通 JR「王子」駅東口から都営バス「西新井」行、「宮城二丁目」下車徒歩5分



下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30~16:30 (入館は16:00まで)
- 入館無料
- 休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館し、その翌日休館)、年末年始 ※夏休み期間は無休
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>

下水道局との関係をおわす 悪質業者にご注意を!

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

● 東京アメッシュ 都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。

● 下水道アドベンチャー 下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。

● 下水道局ホームページ <https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

水再生センター見学受付窓口

土曜、日曜、祝日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。

電話番号 **03-3241-0944**
受付時間 **9:00~17:00(平日のみ)**



地域で育む水環境

みやぎ水再生センター



みやぎ水再生センターの処理区域は、北区の大部分と板橋・豊島・足立区の一部で、面積は1,687haです。周辺は宅地化が進んでいるため、水処理、污泥処理ともに環境対策に配慮しています。

処理した水は、隅田川に放流しています。また、その一部を砂ろ過してセンター内で機械の洗浄・冷却やトイレ用水などに使用しています。

発生した污泥は、センター内で焼却処理するほか、一部を東部スラッジプラントへ圧送し、処理しています。



(令和5年4月現在)

- 運転開始 昭和37年4月
- 敷地面積 112,492m²
- 処理能力 350,000m³/日
- 雨天時貯留池 10,500m³

- 水処理施設
 - 沈砂池 9池
 - 第一沈殿池 9池
 - 反応槽 12槽
 - 第二沈殿池 12池
- 污泥処理施設
 - 濃縮槽 6槽
 - 脱水機 3台
 - 焼却炉 1基

流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

項目	流入水		放流水		条例による放流水の水質基準
	石神井系	飛鳥山系	西系	東系	
BOD	170	230	11	7	25以下
COD	91	110	10	10	—
全窒素	30.0	26.3	9.3	7.7	30以下
全りん	3.4	3.3	0.4	1.0	3以下

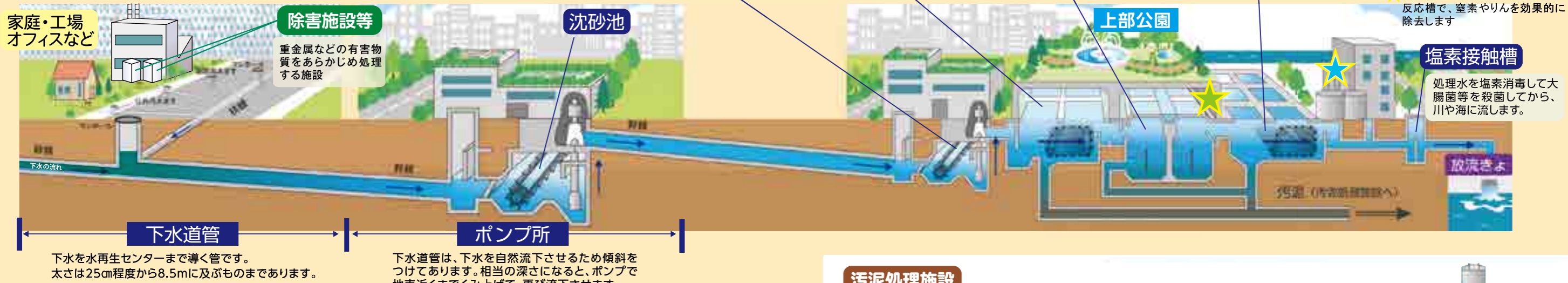
単位: mg/L
令和3年度 24時間試験平均値
※BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。



下水道のしくみ

下水道は、主に3つの施設でできています。

- 下水を集めて流す**下水道管**
 - 下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げる**ポンプ所**
 - 下水を処理してきれいな水によみがえらせる**水再生センター**
- どの施設も正しく働くように日々点検、清掃、補修などを行っています。



家庭・工場、オフィスなど

除害施設等
重金属などの有害物質をあらかじめ処理する施設

沈砂池
下水が入る最初の池で、大きなごみを取り除き、土砂類を沈殿させます。

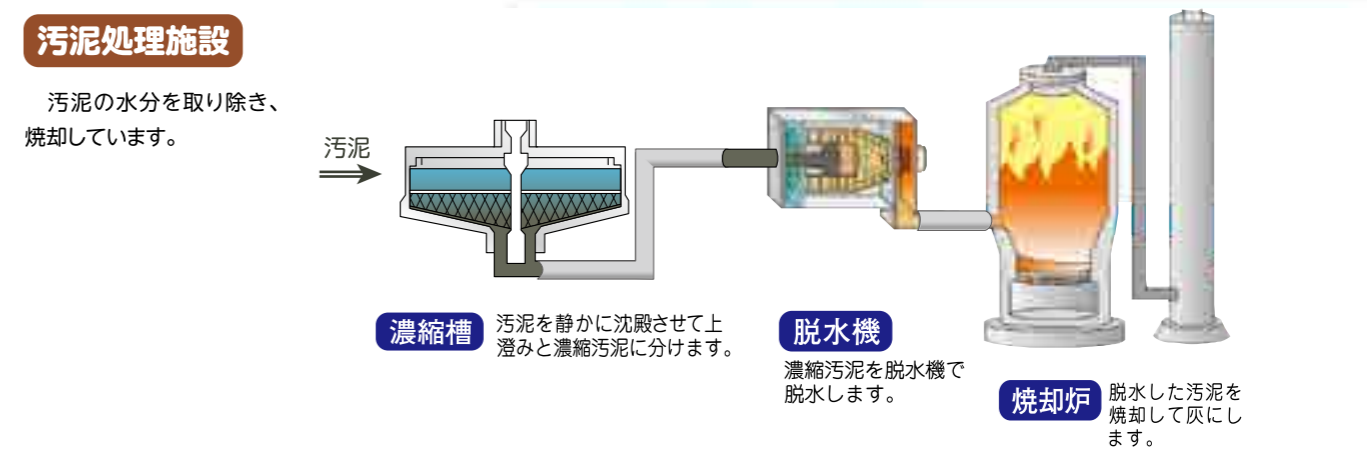
第一沈殿池
2~3時間かけて下水をゆっくり流し、下水に含まれる沈みやすい汚れを沈殿させます。

反応槽
下水中の汚れを微生物が分解し、細かい汚れも微生物に付着して、沈みやすいかたまりになります。

第二沈殿池
反応槽でできた泥(活性汚泥)のかたまりを3~4時間かけて沈殿させ、上澄み(処理水)と汚泥とに分離します。

下水道管
下水を水再生センターまで導く管です。太さは25cm程度から8.5mに及ぶものまであります。

ポンプ所
下水道管は、下水を自然流下させるため傾斜をつけてあります。相当の深さになると、ポンプで地表近くまでくみ上げて、再び流下させます。



汚泥処理施設
汚泥の水分を取り除き、焼却しています。

濃縮槽
汚泥を静かに沈殿させて上澄みと濃縮汚泥に分けます。

脱水機
濃縮汚泥を脱水機で脱水します。

焼却炉
脱水した汚泥を焼却して灰にします。



下水道の役割

汚水の処理による生活環境の改善
家庭や工場から排出された汚水を処理して、快適な生活環境を確保します。

雨水の排除による浸水の防除
道路や宅地に降った雨水を速やかに排除して、浸水から街を守ります。

川や海などの水質保全
下水を処理し、きれいにした水を川や海に放流することにより、その水質を改善し、保全します。

新たな役割
再生水や下水熱など下水道が持つ資源・エネルギーの有効利用や下水道施設の上部空間の利用などにより、良好な都市環境を創出するという新しい役割を担っています。



● みやぎ水再生センターの特色

光ファイバー通信網によるポンプ所の運転管理

下水道管の中を通した光ファイバー通信網を利用して、みやぎ水再生センターから神谷・新田・王子の3ポンプ所の設備を遠方監視制御により運転しています。



▲みやぎ水再生センター中央監視室



▲神谷ポンプ所雨水ポンプ設備

ターボ型流動焼却炉

燃焼排ガスによりターボチャージャー(過給機)を駆動し、それにより外気を燃焼空気として炉に自給する燃焼システムを採用した省エネルギーで、省スペースや環境配慮にも適合した汚泥焼却炉です。

